

# 前回の振り返り

令和 4 年11月28日

# 令和4年度懇談会の開催状況①

## 第4回懇談会（7月20日） 開催済

参加者：学識者、沿川自治会、関係団体（利活用、商工観光関係）、千葉県葛南土木事務所、市

- ① 前回までの振り返り
- ② 「かわまちづくり」の協議会について
- ③ 市の考えるスケジュール（案）
- ④ 現在進行中の活動報告
- ⑤ 意見交換 テーマ1 「どのようなグループでこれから議論していったらよいか？」
- ⑥ 意見交換 テーマ2 「参加したいグループの調整と新しいグループでの意見交換」



## 第5回懇談会（8月4日） 中止※

参加者：学識者、沿川自治会、関係団体（利活用、商工観光関係）、千葉県葛南土木事務所、市

- ① 前回の振り返り
- ② 江戸川区新川の現地視察

※全国的な新型コロナウイルス感染者急増のため



## 第5回懇談会（9月20日）

参加者：学識者、沿川自治会、関係団体（利活用、商工観光関係）、千葉県葛南土木事務所、市

- ① 前回の振り返り
- ② プレ（仮称）勉強会の開催状況
- ③ （仮称）勉強会について
- ④ 意見交換 テーマ1 「（仮称）勉強会のあり方と名称」について
- ⑤ 意見交換 テーマ2 「テーマ毎のメンバー」について
- ⑥ 新川の現地紹介

# 第5回懇談会の振り返り

1 開催日時 令和4年9月20日（火） 午前15時00分～午後17時20分

2 開催場所 浦安市役所4階 S2・S3・S4会議室

3 出席者

学識者 2名

沿川自治会 代表者7名

関係団体 代表者8名

河川管理者 2名

事務局 9名

事務局補助 4名

4 次第

① 開会

② 前回の振り返り

③ プレ（仮称）勉強会の開催状況

④ （仮称）勉強会について

⑤ 質疑応答・全体討議

休憩

⑥ 意見交換 テーマ1 「（仮称）勉強会のあり方と名称」について

休憩

⑦ 意見交換 テーマ2 「テーマ毎のメンバー」について※

⑧ 新川の現地紹介※

⑨ その他

※次第⑦については、テーマ毎のメンバーは決めず、今後のスケジュールなどについて事務局で検討したうえで、第6回懇談会の議題を設定することとした。3  
次第⑧については、時間の都合で省略した。

# 開催状況



意見交換状況（グループ1）



意見交換状況（グループ2）



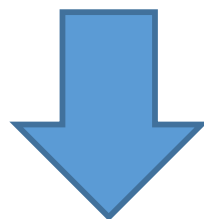
意見交換状況（グループ3）



開催状況

## (仮称) 勉強会の名称候補

グループ	名称
グループ1	特にこだわりはない
グループ2	境川かわまちをつくる市民の会
グループ3	境川かわまちづくり推進検討会



候補

境川かわまちを進める会

# 主な意見について①

## (1) 「境川かわまちを進める会」のあり方

- ・ 懇談会には、各団体から1名ずつしか参加していない。まずは、参加者の範囲を広げ、議論を深めていく必要があり、テーマごとに議論する段階には至っていないのではないかと。この段階で、予め行政に決められた3つのテーマに参加者を分けるのは反対である。
- ・ このまま懇談会で議論を進めても行き詰ってしまう。仮設定したテーマで、まずは（仮称）勉強会として動き出すことが重要である。1人の参加者が複数のテーマに参加し、クロスオーバーしながら議論を進め、熟度が高まってきた段階で新たな参加者を集めていくような形が良いのではないかと。

## (2) かわまちづくり計画登録のスケジュール

- ・ 令和5年度の登録を目指すのであれば、11月には国土交通省のヒアリングを受ける必要があるが、このヒアリングで示す計画の原案を懇談会でも示していただきたい。
- ・ 当面の目標は、かわまちづくり計画の登録であると考えている。まずは、登録されるための計画書づくりを進め、登録後、活動しながら改善していけば良いのではないかと。

## (3) かわまちづくり計画の内容

- ・ かわまちづくり計画の登録のための基準はあるか。
- ・ かわまちづくり計画について、どの程度までできていれば登録されるのか。ハードルの高さがわからないと、どのようなスケジュールで進めていくかイメージがつかめない。



## 主な意見について②

### (4) 幅広い層の参加、意見収集

- ・ ホームページだけではなく、広報等で発表すると参加していない方から意見をいただけるのではないかと。
- ・ ワークショップを行うなど、いろいろなことで人を増やしていくとも大事だと思う。
- ・ リアルな会議とオンラインを併用で、夕飯が終わる頃の夜8時くらいから開催するのはどうか。
- ・ 広い年齢層に参加してもらう方法は、スケジュール感とマッチさせて具体的に決めていかなければならない。

### (5) 「境川かわまちを進める会」の進め方

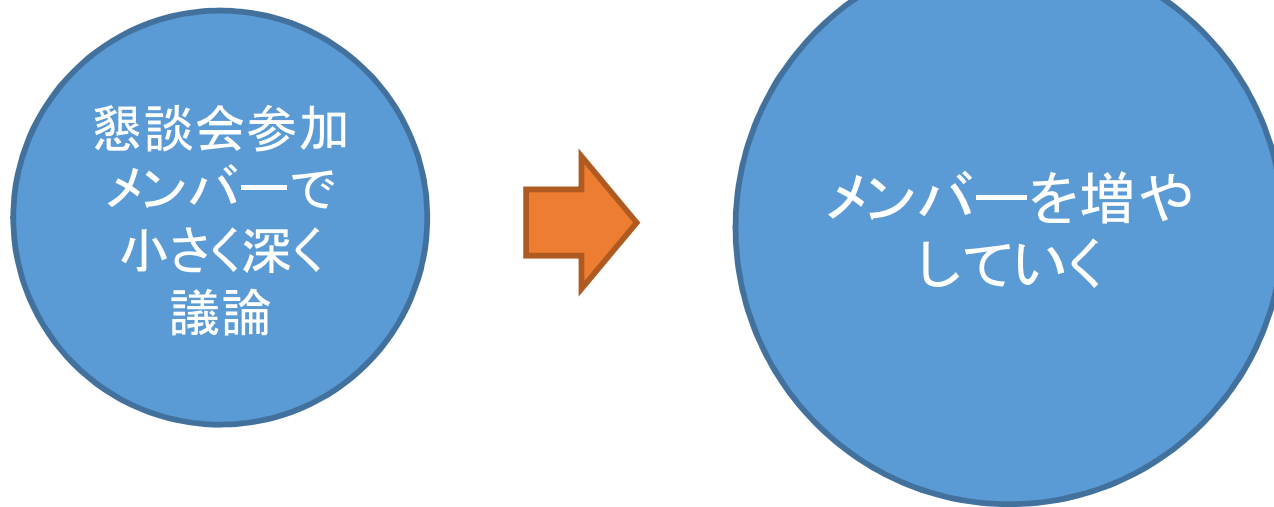
- ・ プレ（仮称）勉強会くらいの少人数で、言いたいことが言えるのがよい。
- ・ ヒアリングしてくれる人が一人いてくれるとよい。聞かれることによっていろいろなことを引き出せる。
- ・ 白地図を一人一人が持ち、場所毎にやりたい事を書き出し、まとめて大きなものしていけば、全体像を作っていけると思う。
- ・ 参加者が同じ情報、知識を共有できるようにまずは勉強会形式で行い、その後にワークショップなどを開催したほうがよいのではないかと。
- ・ 運営していく上では議論のテーマは決めておいた方がよい。
- ・ スケジュール、作業目標等もあらかじめ決めておいた方がよい。

# 市の考え

- (1) 幅広い層の参加、意見収集
- (2) 「境川かわまちを進める会」の進め方

- 懇談会(後に協議会)は、境川全体を議論するため、大勢で行うものと考えていない。
- 幅広い層の参加や意見収集は「境川かわまちを進める会」を想定している。

## 境川かわまちを進める会



- ・ イベントで参加を呼びかけ
- ・ 大学のコネクションの活用
- ・ 各関係団体の次世代を担う人や若い人

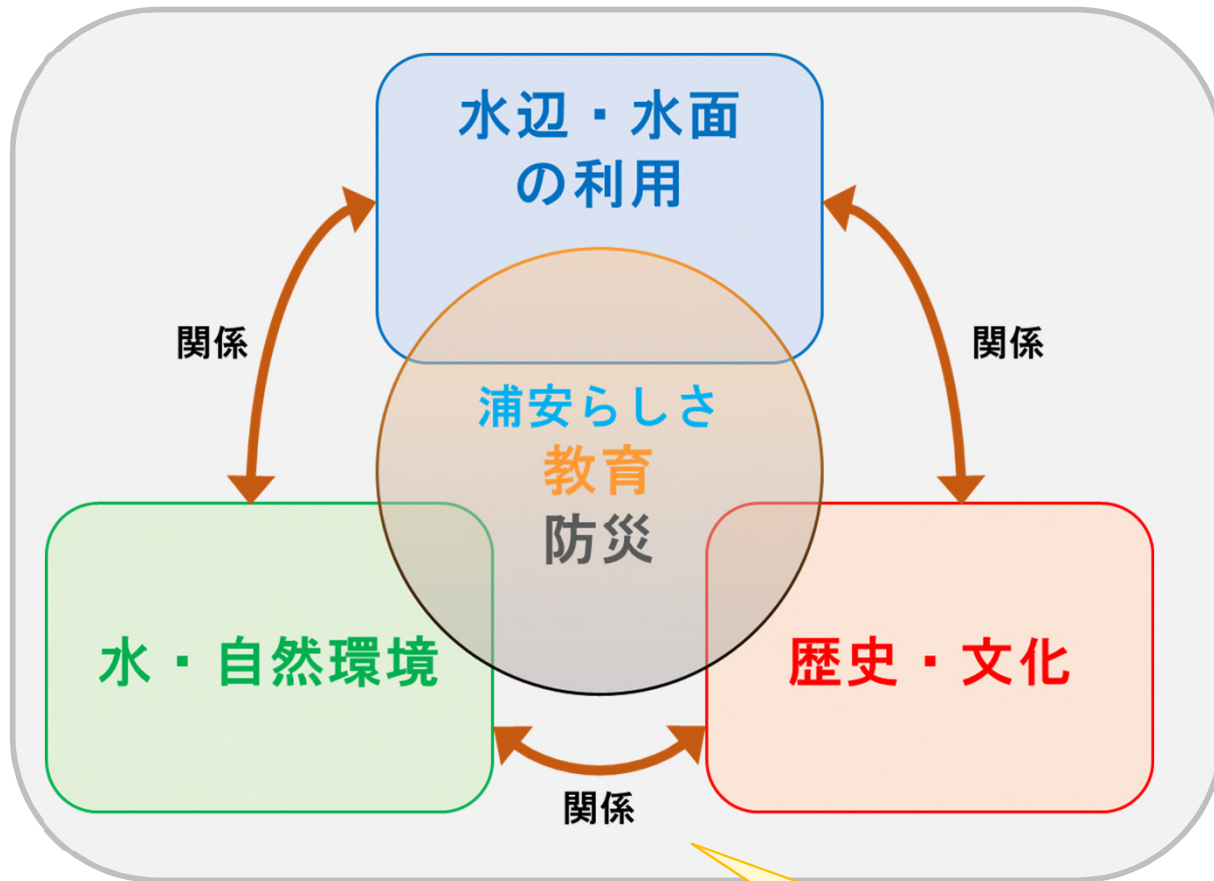
地図



開催イメージ



## (3) 「境川かわまちを進める会」の3つのテーマ



- 第4回懇談会でまとめた5テーマをもとに市が3テーマ組み立てなおしたものである。
- 当初の5テーマは、皆さんからいただいたキーワードからまとめたものである。

- 各テーマは関係性があり3つに分解とは考えていない。
- 懇談会で全テーマを統括し、連携も考えるので、まとまりがなくなる心配はしていない。